



MONTHLY NEWS

京都画廊連合会ニュース

THE KYOTO GALLERIES FEDERATION OF ARTS

2016
11月号
No.499

黄金のファラオと大ピラミッド展

と き/10月1日(土)~12月25日(日) 10:00AM~6:00PM
と ころ/京都文化博物館(月曜休館)
京都市中京区三条高倉 ☎075-222-0888

今からおよそ4500年前、古代エジプトの古王国時代に、クフ王、カフラー王、メンカウラー王の3代のファラオたちによって巨大なピラミッド群が建造された。宇宙からも見えるというこのピラミッドは、古代ギリシア時代から伝わる「世界の七不思議」の中でも、一番目の不思議として知られ、今でも残っている唯一のものである。ピラミッドは、いつ、何のために、どうやって建てられたのか、謎のテーマはつきない。本展では、世界一のエジプト・コレクションを誇るエジプトの国立カイロ博物館から、こうした王とピラミッドの謎に関するエジプトの至宝が出品される。3大黄金マスクの一つと称される「アメンエムオベト王の黄金のマスク」や「クフ王の銘が入った彫像」、美しく壮麗な「彩色木棺」など100点あまりの至宝の数々。すべてが監修者の吉村作治氏が選び抜いたもの。



「アメンエムオベト王の黄金のマスク」



古王国時代を中心に、ファラオや王家の女性、貴族、ピラミッド建設を支えた人々などを紹介し、ピラミッドとそれを建てた偉大なファラオたちの壮大なドラマに迫る。また、ツタンカーメンの黄金のマスクやギザのピラミッド、ルクソール神殿、カルナク神殿などを撮影した高精細4Kシアターも本展覧会の見どころの一つ。古代エジプト3000年の旅が楽しみル展観である。

「アメンエムヘベルムウトの彩色木棺とミイラ・カバー」

マリー・ローランサン展

と き/10月28日(金)~11月27日(日) 10:00AM~8:00PM
と ころ/美術館「えき」KYOTO(会期中無休)
JR京都駅ビル京都伊勢丹7F隣接 ☎075-352-1111

マリー・ローランサン(1883-1956)は20世紀前半のパリで活躍した女性画家。彼女が描き出す優美で甘美な作品は、いつの時代も人々を魅了し続けている。彼女がはじめてに入った学校は名門女学校だったが、「画家になりたい」という思いが高まり、卒業後にアカデミー派の画家フェルナン・アンペールの画塾に入門した。そこで出会った画家ジョルジュ・ブラックによって魅力的な新造形の世界に導かれ、パブロ・ピカソらが住むモンマルトルのアトリエ「洗濯船(パト=ラヴォワール)」に集う画家や詩人たちとも交流を深めた。新しさを探求する画家たちは、ローランサンにとって刺激的な存在だったようで、彼女の画風は少しずつ変化していった。やがてパリの画壇から離れた彼女の作品からはキュビズム時代の鋭い輪郭線は徐々に消え、そのスタイルは可憐で気品あふれるものへと変化し、色彩も柔らかく愛らしいパステルカラーを用いたローランサン独特の造形世界が生まれるようになった。変わりゆく時代の中で、常に自分自身と向き合った画家ローランサン。没後60年を記念して開催する本展では、マリー・ローランサン美術館が所蔵する油彩を中心とする約80点を紹介している。



「お城の生活」1925年

会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	12/1
		火	水	④	金	土	⑤	月	火	水	木	金	土	⑥	月	火	水	木	金	土	⑦	月	火	④	木	金	土	⑧	月	火	水	木
京都国立近代美術館		メアリー・カサット展(月曜休館)																													→12/4	
左京区岡崎公園内 761-4111		第4回 コレクション展(4F)																													→12/11	
京都国立博物館		特別展覧会「没後150年 坂本龍馬」(月曜休館)																										庭園のみ開館	→12/11			
東山区東大路七条西 541-1151		京都府蔵池大雅美術館コレクション「池大雅」/ 近衛家王朝のみやび 陽明文庫の名宝6																													→12/11	
2F		祇園祭-芦刈山の名宝-																													→1/15	
京都府 京都文化博物館		国立カイロ博物館所蔵 黄金のファラオと大ピラミッド展 (月曜休館、月曜が祝日の場合は開館し、翌日休館)																													→12/25	
中京区高倉通三条上ル 222-0888							第50回 記念心象書展					時空 出口育子作品展 Time & Space Exhibition					第28回 工芸美術創工会展															
6F		京仏具 四人会展		第5回 絲織会作品展 竹心展		西野象山傘寿の書展					金彩 荒木三代展					龍門社 選抜書道展																
別館		第159回 美展		マーレングラ スリッツェン		音楽会					音楽会					アトリエエンジェル スチンドグラス展					「十人十色」ガラスの展覧会					kikuju					→12/6	

会場		日曜	1火	2水	3(木)	4金	5土	6(日)	7月	8火	9水	10木	11金	12土	13(日)	14月	15火	16水	17木	18金	19土	20(日)	21月	22火	23(水)	24木	25金	26土	27(日)	28月	29火	30水	12/1木
京都市美術館 左京区岡崎公園内 771-4107	本館	生誕300年 若冲の京都 KYOTOの若冲 (月曜休館：祝日の場合は閉館)																														→12/4	
		第43回 創画展										LA VOZ 22nd EXHIBITION					第16回 土と色 -ひびきあう世界-京都展					「瓜生山藤の会」日本画展					→12/4						
		国際インパクトアートフェスティバル					第27回 集団AUF展					第41回 グッドアート展					第50回 女流陶芸公募展					第101回 二科展					→12/4						
		第71回 新匠工芸会展					第34回 楽書会書展					第70回 記念 二紀展					第84回 独立展										→12/4						
		第23回 アトリエ作品展					第41回 浄土宗芸術祭美術展					次世代工芸展					Kyoto Current 展																
京都府立文化芸術会館 河原町府立病院前 222-1046	1F	ファミ展 (洋画・写真)					7人の絵画展 (洋画)					ハクの会作家展 (美術・工芸総合)					光風会 京都作家展 (洋画・版画)					日本画グループ (日本画)					→12/4						
	2F	示現会 京都芸館展 (洋画)					第6回 Etude展 (人物画勉強会有志展)					第一美術関西展 (美術・工芸総合)					光風会 京都作家展																
	3F	祐の会 (日本画)					雪月花展(書)																										
京都府立堂本印象美術館 北区平野上柳町26 463-0007	堂本印象生誕125年「INSHO EXPOSITION ~天才!! 印象ワールド~」 日本画家・堂本印象にこんな世界があったのか!?(月曜休館)																														→12/25		
何必館・京都現代美術館 東山区祇園町北側 525-1311	光の表象・田原桂一光画展 (月曜休廊)																														→12/25		
高島屋 下京区河原町四条下ル 221-8811	画廊	玉置保夫展 泥土行脚-53					青湖会 日本画展~標~					Ⅲ城康夫展 (洋画)					辻村史朗の世界 -我流未到-					山田伸 日本画展 山村 慎哉展					→12/6						
	グランドホール						いけばなの根源 池坊展																				→12/6						
大丸 中京区四条高倉 211-8111	画廊	世界の前衛巨匠芸術家展					ロジェ・ボナフェ展					俊英作家秀作洋画展					佐藤潤絵画展																
	アートサロン	アートセール版画特集					北川安希子日本画展					荒尾元・近藤あかね 陶二人展					宮野孝司日本画展																
	ミュージアム	京都新世代 いけばな展 2016																															
中信美術館 上京区下立売油小路東入 417-2323	石本正 素描展 -鶏頭・芥子・糸の森- (月曜休館)																														→12/11		
並河靖之七宝記念館 三条通北裏白川筋東 752-3277	秋季特別展 煌めきの七宝																														→12/11		
美術館「えき」KYOTO JR京都伊勢丹7F 352-1111	没後60年・マリー・ローランサン展																									準備期間 閉館中							
会場	日曜	1火	2水	3(木)	4金	5土	6(日)	7月	8火	9水	10木	11金	12土	13(日)	14月	15火	16水	17木	18金	19土	20(日)	21月	22火	23(水)	24木	25金	26土	27(日)	28月	29火	30水	12/1木	
アートギャラリー北野 中京区三条河原町東入 221-5397	1F	藤井習子日本画展					中村千枝子展 (染織)					池田泰佑陶製モザイク展					萩原麻衣子個展					デザイン ルーム コロ					→12/5						
	2F	ジバン具vol.9 (日本画)					春野かそい 書展					日本画二人展「誰そ彼」																					
アトスペース虹 三条通上都ホテル隣 761-9238	河原敦子 (平面)					石井誠 (平面)					矢津吉隆展 (月曜休廊) (インスタレーション)					田中美佳 (平面)										→12/4							
アトスペース東山 東山区三条神宮道東入 751-1830	中村美千子写真展 -篠突く雨の向こう-					四人の眼+1 (彫刻・絵画・写真)					杉浦正和写真展 フォルモサ					だいじょうぶですよ「80の手習い」写真展					平岡潤展					→12/4							
Art Spece MEISEI 中京区寺町竹屋町上ル 744-0122	「302」 京都造形芸術大学青木ゼミ生による展覧会 (日本美術)					額川麻美子日本画展					上岡奈苗 日本画展					権-kai- 京都市立芸術大学日本画川崎海研究室修了生展					日本画 八人展					→12/4							
アートギャラリー博宝堂 左京区岡崎神宮道東側 771-9401	-京都の情景- 常設展 (月曜休廊)																																
綾小路ギャラリー武 下京区綾小路高倉東入ル 351-4787						幼なじみ六人展															殿村栄一 まあるい心展					→12/4							
イムラ・アート・ギャラリー 左京区丸太町川端東入 761-7372	常設展															西村圭功個展 (漆器)															→12/17		
一心堂画廊 中京区烏丸通六角下ル 211-1013	日本画・洋画常設展																																
芸州堂画廊 中京区寺町二条下ル 231-3613											ねむるシルクとの再会 藤井美知子 第21回 着物リフォーム展					幻一 木版画 「羅漢さん」展																	
絵草子 東山区新門前通東山西 551-9137	常設展																																
延寿堂ギャラリーソフォラ 中京区二条寺町東入 211-5552	水野幸一・みずのみさ展 (陶磁×ガラス)										休廊					野上千晶展 -物語を奏でる器III-															→12/6		
御池画廊 北区小山上総町20-2 492-3083	洋画/日本画常設展 (日・祝休廊) 青木敏郎・伊谷賢蔵・池田遙邨・熊谷守一 他																																
カギムラ画廊 中京区河原町四条上ル東入 221-2996	日本画・洋画常設展																																
画廊おかざき 左京区岡崎神宮道西側 761-0027	現代工芸作家常設展																																

(企): 企画および常設を中心に活動する画廊 (貸): 貸画廊

[今月の展覧会より]

小倉正志個展

「都市の表層とファンデーションシリーズ」

と き/10月22日(土)~11月13日(日) 12:00~6:00PM

ところ/ギャラリー白川(月曜休廊、祝日開廊)(東山安井信号東入ル南下ル)
京都市東山区祇園下河原上弁天町430-1 ☎075-532-2616

都市をテーマに描き続けて今年で制作活動20年。小倉正志の新作「ファンデーションシ」リーズのご案内です。

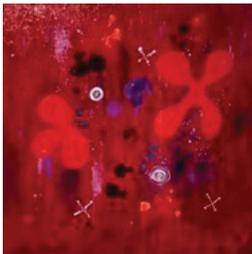
「都市は人間の欲望を惹きつける貌(かお)を持っています。女性は自身の肌をファンデーションで整え、化粧をする。他人を意識することは、都市という現代社会では不可欠であり、ファンデーションとはそうした女性のツールであると同時に、見せたくない現実をコーティングする手段でもあると思う。」と語る小倉は、都市という生命体が人間を惹きつけてやまない都市の表層の姿や人間には見せたくない傷や、悪意などを新作「ファンデーションシリーズ」で、提示しようとして試みます。このシリーズでは、過去の作品に登場したビルディングや人の記号は姿を消し、色彩は優しく、色面構成と曲線による



「ファンデーションno3」
アクリル 41×34.5cm



「TOKYOイリージョンno8」
アクリル 60×41cm



「都市の微生物」
アクリル 18×18cm



「スターダストインザタワー」
アクリル 27×27cm

シンプルの中に、パール系の色を配色することで都市の表層の華やかさとクールさを表現しています。併せて、ここ数年タワーシリーズの制作のため制作していなかったスタンダードな都市シリーズを新たに進化させた作品も発表。都市という生命体を表現するファンデーションシリーズとは対を成す作品群です。ギャラリー白川では4回目の個展です。どうぞ、ご高覧下さいませ。

るシンプルの中に、パール系の色を配色することで都市の表層の華やかさとクールさを表現しています。併せて、ここ数年タワーシリーズの制作のため制作していなかったスタンダードな都市シリーズを新たに進化させた作品も発表。都市という生命体を表現するファンデーションシリーズとは対を成す作品群です。ギャラリー白川では4回目の個展です。どうぞ、ご高覧下さいませ。

嘯矢祭 一其之九十九

松村公太展 一光 その先にー

と き/10月27日(木)~11月5日(土) 10:00AM~6:00PM

ところ/大雅堂/1F展示室(会期中無休)

京都市東山区祇園町北側301-2 ☎075-541-7388

この度、「嘯矢祭 一其之九十九 松村公太展 一光 その先にー」を開催致します。

松村公太が描くのは、幼少期に触れ合いながら過ごした自然をテーマとした日本画。それほどこか郷愁が感じられる風景でもあります。木々や地面の香りが立ち込め、風が葉を揺する音が何処からか聞こえてくるような、「見る」以上の感覚を覚えることが出来る作品の数々を京都の画廊で初の公開となります。この機会にぜひご高覧下さいませ。

〈作家コメント・コンセプト〉

自然を題材とした日本画の風景画を描いています。

幼少期に田舎で育った原体験を素に、単に美しい風景ではなくそこに生きる人、土や水の臭いを絵にしたいと思いながら制作しています。京都という街は日本の中でも特に美意識が高い所だと感じます。そのような場所での展覧会は勉強と挑戦でもあり、このような機会を下さった大雅堂様には感謝致します。京都では初の個展となりますが、ぜひご高覧頂けたら幸いです。

松村公太

〈作家在廊予定〉

29日(土)・30日(日)を予定(都合により変更の場合あり)

【松村公太 略歴】

- 1978 愛知県出身
- 2005 東京藝術大学修了制作サロン・ド・プランタン賞受賞、院展初入選(以降出品)
- 2006 春の院展初入選(以降出品)
- 2008 東京藝術大学保存修復日本画博士課程修了、東京藝術大学教育研究助手(08~11)
- 2011 個展(名古屋・広島)、東京藝術大学非常勤講師(11~15)、特別研究員(11~15)
- 2012 個展(東京・大阪)
- 2013 個展(徳島・名古屋)
- 2014 個展(東京・岡山・兵庫)
- 2015 個展(東京・名古屋・仙台)
- 2016 個展(大分・大阪)京都・大雅堂
- その他毎年グループ展各種出品



「昇緑」 10M



「宵富士」 8P

母子像名作選、そして少女たち

と き／11月1日(火)～12月3日(土) 10:30AM～6:00PM
 ところ／星野画廊(日曜、月曜休廊)
 京都市東山区道三条上ル ☎075-771-3670

現在京都国立近代美術館で展覧会開催中のメアリー・カサットは、家庭の情景、特に愛の眼差しに溢れる母子像を数々描いて「母子像の画家」の称号で親しまれている印象派の女性画家です。

本展は同展に協賛し、明治・大正・昭和期に日本の洋画家と日本画家が描いた母子像の名作16点、併せて、生き生きと愛らしい少女像の作品24点を展覧(即売)します。これらの作品は、当画廊コレクションの中でも重要な位置を占める魅力的な作品ばかりです。是非、メアリー・カサット展と共にご覧下さるようご案内いたします。期間中(前期・後期)に一部展示替えします。

出品作家名

〔母子像〕

飯田清毅 石原 薫 小笠原豊涯 黒田重太郎 桑重儀一 谷出孝子 野田英夫 秦 テルヲ
 松村綾子 矢野雅藏 劉 栄楓 Hata Kenkichi

〔少女像〕

青木大乗 池部 鈞 伊藤慶之助 笠木治郎吉 亀高文子 幸田暁治 甲斐庄楠音 服部喜三
 霜鳥之彦 薄田芳彦 谷出孝子 田中善之助 堂本尚郎 中西利雄 野口謙藏 野田英夫
 八條弥吉 廣瀬勝平 松村綾子 宮本三郎 矢崎千代二

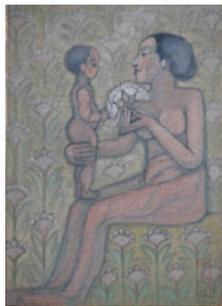


石原薫
 「父親のいない家族」
 1954(昭和29)年
 関西新制作展新作家賞
 油彩、183.0×91.0cm

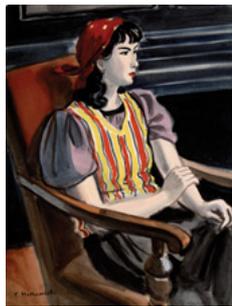
記念図録発売
 B5判48頁 頒価 1,000円



黒田重太郎「母子像」
 1920(大正9)年
 第7回二科展(1921)
 油彩、80.2×65.4cm



秦テルヲ「恵まれしもの」
 1921(大正10)年
 寒冷紗に彩色 21.2×15.2cm



中西利雄「赤いスカーフ」
 1942(昭和17)年
 水彩、66.0×50.5cm



野田英夫「籠を持てる少女」
 1932(昭和7)年 紙に水彩21.5×35.3cm

光の表象 田原桂一 光画展

と き／11月4日(金)～12月25日(日) 10:00AM～6:00PM
 ところ／何必館・京都現代美術館(月曜休館)
 京都市東山区祇園町北側271 ☎075-525-1311

このたび「光の表象 田原桂一 光画展」を開催いたします。

パリと京都はよく似ているといわれます。共に時間をかけて造りあげられた街だからです。一筋縄ではいかない難しさと面白さが共存し、そこに住む人々の感性をしたたかに育てているのです。

1972年、小さな劇団の照明係として渡仏、公演後そのままパリに残った田原桂一は、写真家を目指し、わずか5年後の26歳の時、この「窓」のシリーズでアルル国際写真フェスティバル大賞を受賞、一躍世界的な脚光を浴びます。以後、木村伊兵衛賞、ニエプス賞、シュヴァリエ文化功労賞と受賞を重ねてきました。

本展では、プラチナプリントという古い手法で焼き付けられた「都市」「窓」「エクラ」「ヌード」「トルソー」の5つのシリーズを中心に、作品約60点を展覧いたします。また、石やガラス、布などに印画された作品も展示いたします。

会期中には作家が来館してサイン会も開催されます。活動の場を日本に移した田原桂一の再スタートとなる本展を、ぜひ御高覧ください。

サイン会 11月5日(土)、11月20日(日)
 12月3日(土)、12月24日(土)

記念出版『田原桂一写真集』 3,800円



「ルーヴルの犬」1994年



「窓」1977年



「トルソー」1987年

〔今月の展覧会より〕

中国の現代作家をみる

袁进华 Yuan Jinhua Solo Exhibition ～擁山抱水

と き／11月5日(土)～11月18日(金) 12:00～6:00PM

ところ／ギャラリー三条祇園

京都市中京区寺町通御池上ル上本能寺前484

トミヤビル2F ☎075-221-6401

「新水墨」を代表する作家 袁进华 (エン ジンホア) の展覧会を開催いたします。
伝統的に培われてきた中国水墨画は、思想や生命力を絵画に表現する方法、つまり「気」の表現を軸に考え描かれてきました。その「気」の表現を、西洋の影響を色濃く受けている現代中国の作家たちが描く、という意味合いが「新水墨」という名称に込められています。

今回は、スピリチュアルでピースフルなメッセージが込められたHug (ハグ) シリーズを中心に、袁进华の「新水墨」の世界をお楽しみください。

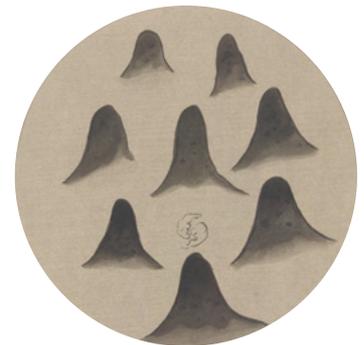
オープニングレセプション11月5日(土) 5:30PM～7:00PM

袁进华 Yuan Jinhua エン ジンホア 略歴
1964年 浙江省の杭州に生まれる
1988年 中国美术学院国画学科卒業 学士学位
2009年 中国美术学院国画学科卒業 博士学位
現在 杭州在住
2014年 上海swatchのアートインレジデンス

袁进华による企画展

2014-2015《転序》水墨中国当代芸術展 浙江美術館・杭州
個展

1993 《西南記事》上海美術館、上海
1994 《秦・牧》中国美術館、北京
2012 《擁山抱水》杭州
2014 《清溪雲林》上海
2016 《水墨紙本》mobillia gallery



「歓陣」



「撥雲」

e・g・g・o 0055 おザキゆい個展 おやすみのまえに

と き／11月10日(木)～19日(土) 10:00AM～6:00PM

ところ／大雅堂／1F展示室 (会期中無休)

京都市東山区祇園町北側301-2 ☎075-541-7388

この度、「e・g・g・o 0055 おザキゆい個展 おやすみのまえに」を開催致します。

生命力が伝わってくる力強い線と色彩的な作品が特徴的であるおザキゆい。その作品一つ一つにはそれぞれ物語がこめられています。今回はタイトルに込められた「おやすみのまえに」をテーマに、眠る前の時間が楽しくなるような作品を発表いたします。この機会にぜひご高覧を下さいませ。

〈展覧会に向けてのコメント〉

幼い頃、電気を消すと天井の柄が幾つもの鳥に見えたりし、夜になるとやってくる薄気味悪い怖さがありました。そして、どこからかお化けが出てきて自分を連れ去ってしまうのではないかと幼心に感じていました。おやすみの前に電気を消したらやってくる鳥は夜の冒険の道案内役として小さな世界を描きました。そして、幼いわたしに「もう怖くはないでしょう？」と言いたいです。

〈日頃の制作のモチーフやコンセプト〉

生命感溢れるものをモチーフとしています。また、一つ一つの作品に物語があります。お調子もののワニや迷子の馬、シャイなカメ、といったようにキャンパスの中に命を吹き込むように日々制作しています。

〈作家在廊予定〉

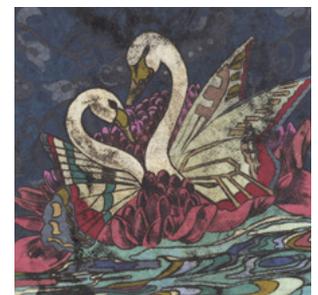
11月10日(木)を予定(都合により変更の場合あり)

【おザキゆい 略歴】

1992年沖縄県生まれ。
2013年11月 グループ展「FUNNY」(京都・prinz 2F)
2014年2月 イラストコースグループ展「ときめい展」
(京都・Antenna Media)
2015年2月 京都精華大学卒業・修了制作展
(京都・京都市立美術館)
2015年 京都精華大学 デザイン学部 ビジュアル
デザイン学科 イラストレーションコース 卒業



「あい」30×30cm



「ふたり」30×30cm

第23回 書画まつり

と き／11月12日(土)～11月27日(日) 10:00AM～6:00PM

と ころ／ギャラリー鉄斎堂(会期中無休)

京都市東山区新門前通東大路西入ル梅本町262 ☎075-531-6164

毎年恒例の書画まつりもお陰様で23回展を迎えることになりました。今回も新画・古画をはじめ諸道具などあわせて約1000点余りを一堂に展示即売させて頂きます。沢山の中からお気に入りの作品と出会っていただけるものと思っております。この機会に是非ご来店くださいませ。

主な出品作家

古画より－円山応挙、長澤芦雪、酒井抱一、池大雅、与謝蕪村、白隠、慈雲、大徳寺もの、蓮月、虚子、種臣ほか

新画より－竹内栖鳳、上村松園、富岡鉄斎、橋本関雪、福田平八郎、小野竹喬、徳岡神泉、堂本印象、池田遙邨、秋野不矩、横山大観、川合玉堂、前田青邨、中川一政、香月泰男ほか

道具より－河井寛次郎、川瀬忍、楠部弥弍、岩田藤七、永楽、六兵衛、蘇山ほか
茶道具、漆器、蒔絵碗など

書画まつり図録 3000円(税込)にて販売致します。
(2冊組 723点掲載、A4サイズ)



横山大観
《飛泉》



白隠：常



石本正《舞妓》



中川一政《薔薇》



河井寛次郎
《盒子》・楽堂入



《赤茶碗》即中斎書付

第58回 京都色絵陶芸展

と き／11月18日(金)～23日(水) 10:00AM～6:00PM

と ころ／京都陶磁器会館(木曜休館) ※呈茶席は21日まで

京都市東山区東山五条上ル ☎075-541-1102

毎年秋の恒例になった「京都色絵陶芸展」が今年は「飲む&呑む」をテーマに、今の生活にピッタリの器を展開してくれます。日本全国からだけでなく、海外からのリピーターのお客様も多く、観客動員数も通常の展覧会の2倍の動員数がある人気の展覧会です。

1階会場は審査により選ばれた作品と、人気の立命館茶道部による呈茶席。ここでは、自分の好きな抹茶盃を選んで、その盃で抹茶をいただくことができます。

2階会場はがらりと趣を変えて、今の洋風の生活にも似合う「飲む&呑む」をテーマにした器が並びます。秋の京都にふさわしい華やいだ展覧会。これをめがけてこられるお客様もたくさんおられます。是非、京都の「はんなり」をお楽しみいただきたいと思ひます。

〈京都色絵陶芸協同組合の歩み〉

- 1945年 高度な色絵技術、幅広いデザインを要求される中、組合発足
- 1958年 第1回上絵陶芸展を京都府ギャラリーにて開催
- 1960年 この年より陶芸展をコンクール形式で開催
技術、デザインを競い合い、レベルの向上を図る展覧会として今日まで継承されている。
- 1995年 組合創立50周年記念「上絵陶芸展」を京都府文化博物館にて開催
これを機に技能者グループ・色絵デザイナーとして「京のやきもの色絵の創造展」を全国のデパートにて開催
- 2011年 「京都色絵陶芸展」をこの年より京都陶磁器会館にて開催
呈茶席や和菓子とのコラボなど、新しい趣向を凝らした取り組みを開始
- 2015年 創立70周年を迎え、新たな色絵の世界を創造するべく、組合員一同研鑽をつんで今に至る



主催 一般財団法人京都陶磁器協会

京都色絵陶芸協同組合

後援 京都府 京都市 京都商工会議所 京都新聞

京都陶磁器協同組合連合会

京都陶磁器卸商業協同組合

京都きものパスポート2016～2017協賛事業

協力 立命館大学茶道研究部

大谷園茶舗

萩原麻衣子個展

～粘土で作るちいさな動物たち～

と き／11月23日(金)～11月28日(月) 11：00AM～7：00PM
ところ／アートギャラリー北野(1F)
京都市中京区河原町三条北東角 ☎075-221-6397

5回目となる「萩原麻衣子個展 ～粘土で作るちいさな動物たち～」を開催致します。

「森の暮らしのひとこま」をモチーフに樹脂粘土で作られたミニチュアサイズの作品の中には、たくさんのちいさな動物たちが暮らすメルヘンな世界がギュッと詰まっています。

大作、小品にかかわらず、細部にわたって丁寧に作り込まれた作品には作者のこだわりが詰まっており、そのパーツ1つ1つを見ているだけでも飽きる事はありません。また、それぞれの作品の中で動物たちが見せる愛らしい仕草や表情には、思わず笑みがこぼれる事でしょう。



「さかなやさん」(部分)



「ねずみの村」2015 (部分)

過去4回の展覧会では会場内は常に笑顔で溢れ、お子様からご年配の方までどなたでも楽しんでいただけました。普段ギャラリーには入りづらいとお考えの方にこそ、気軽にご覧いただきたい展覧会です。まるで絵本の1ページのような優しい世界へぜひお越しください。

〈萩原麻衣子略歴〉

滋賀県在住

- 2008年 樹脂粘土による作品づくりを開始
- 2010年 ハイアットリージェンシー大阪ウィンドウギャラリーにて作品展示
- 2011年 A HAPPY NEW RABBIT YEAR展 (ミレージャギャラリー／東京)
芸術の存在意義「展」(アートイマジン／東京)
夏の終わり展 (小野画廊Ⅱ／東京)
- 2012年 樹脂粘土で作る小さなどうぶつたち (アートギャラリー銀座／東京)
- 2013年 粘土で作るどうぶつたちの小さな世界 (アートギャラリー北野／京都) 同'14 '15
- 2013年 小品展 (吉祥寺PARCO／東京)
画廊推薦作家展 (アートギャラリー銀座／東京)
あべのハルカス近鉄本店「クリスマス・マルシェ」出展
- 2014年 JR大阪三越伊勢丹「マイバレンタイン～私のために・・・～」出展



「森の湯」(部分)

林 紅村 展～伝統と次代への挑戦

と き／11月25日(金)～12月7日(水) 10：00AM～6：00PM
ところ／京都陶磁器会館(木曜休館)
京都市東山区東山五条上ル ☎075-541-1102

長い歴史を持つ清水焼の伝統の中で、紅村窯は100年以上続く窯元です。大正時代初期より二代 林 円山氏が清水のちゃわん坂(清水新道)で制作を始め、青磁を主として貿易関係など戦前大きく事業を行いました。戦後氏は紅村と改名、現在の紅村窯を代表する白磁、青磁を開発、その子息三代 紅村(林克行氏)がその技術を継承し、四代目となる林侑子氏とともに三代にわたって培われた伝統技法と格調を研磨しつつ、その美しさの中に新しい息吹を盛り込んだ作品を制作しておられます。

紅村窯の西施白磁と名付けられた白磁は、中国の古窯で作られた白高麗(白磁)から発展したなめらかな乳白色が印象的です。ロクロ成形に至難の技を必要とするそうで、西施洗練された形と、東洋美人の肌を連想する白玉の様な釉調から相まって、まさしく中国の代表的な美女 西施 からの命名がふさわしい作品です。

また、青磁の作品も、中国の宋時代、豊穡な成熟を示した青磁を古来の製法を踏襲しながら優雅で独自の深い色調を持った青磁で、高貴で格調高い作品となっています。

今回は三代 紅村(克行氏)、四代 紅村(侑子氏)の二人展として、受け継がれてきた清水焼の、美しい伝統をご覧いただくこうと企画いたしました。三代の洗練されたシャープなラインと四代の可愛らしさとのコラボレーション、そして新しい作品への挑戦をお楽しみいただけると幸いです。

三代紅村 林 克行
1940年 京都市に生まれる
京都芸術大学 彫刻科卒
丸善にて林紅村父子展
(日本橋、大阪をはじめ各地の支店)
新宿京王百貨店 新宿紀伊国屋
銀座永井画廊 神戸三越
新宿ギャラリー巴堂銀座ギャラリー江
JR大阪三越伊勢丹ぐい呑みコレクション展

四代紅村 林 侑子
1981年 林克行の長女として生まれる
2004年 京都府立陶工技術専門校成形科卒
2005年 同校 研究科卒
2006年 京都市産業技術研究所
陶磁器本科卒業
2006年 父・林紅村に師事
2008年 Art & Crafts 紅村にて初個展
大丸京都店や高島屋京都店などで二人展やグループ展に参加
2012年 紅村studio『Arche』アルシェをオープン
2014年 春の展示会で林侑子として初のうつわブランド『yu's style』を発表
アルシェでの『こどもとうげいくらぶ』始動



〔今月の展覧会より〕

アンドレ・ブルトン生誕120年／没後50年記念展 「シュルレアリスムと絵画」

と き／11月1日(火)～11月19日(土) 1:00PM～7:00PM
ところ／ギャラリー宮脇 (月曜休廊)
京都市中京区寺町通二条上ル東側 ☎075-231-2321

シュルレアリスムの教皇、アンドレ・ブルトンの生誕120年／没後50年を記念し、ブルトンが著書「シュルレアリスムと絵画」(邦訳版は瀧口修造・巖谷國士の監修で人文書院より1997年に刊行)で取り上げた画家たちのオリジナル版画を中心に約40点を展示する。ブルトンの美術論80篇を収載した一大集成であるこの著書は、シュルレアリスムの黎明・興隆・展開を、その指揮者／体现者自身が生き生きと語り伝え、中心にいた作家群についてはもちろん、萌芽・周縁を成す創作物まで広く眼差しを投じ、二十世紀の最も重要な美術書の一つとなっている。出品作家は、ジョアン・ミロ、マックス・エルンスト、ロベルト・マッタ、ヴィフレド・ラム、アンドレ・マッソン、サルバドール・ダリ、マン・レイ、ルネ・マグリット、エンリコ・バイ、F.S.ゾンネンシュターンほか。書籍も販売。

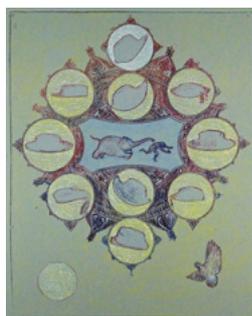
★巖谷國士(仏文学者・明治学院大学名誉教授)記念講演会
「絵画のシュルレアリスム アンドレ・ブルトン再発見」
11月19日(土)午後3時開演(定員あり／予約先着順)



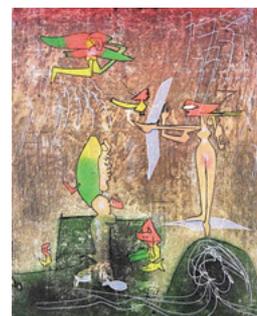
ダリ「電話機」1975年
51×36cm 銅版画



ミロ「星座」1959年
30×24cm リトグラフ



エルンスト「文明」1974年
58×48cm リトグラフ



マッタ「無題」
41×32cm 銅版画

生誕300年 若冲の京都 KYOTOの若冲

今から300年前の1716年(正徳6)に、伊藤若冲は京都錦小路の青物問屋の長男として生まれた。家業のかたわら狩野派、尾形光琳や中国の元代、そして明代の画法を学び、江戸期においては初老といわれた40歳で家業を弟に譲り、絵画の制作に専念するようになった。そして1800年(寛政12)に没するまで、写生的、装飾的な花鳥画と斬新なタッチの水墨画によって異色の画風をつくりあげた。

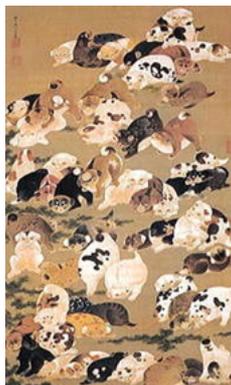
と き／10月4日(火)～12月4日(日) 9:00～5:00PM
ところ／京都市美術館(祝日以外の月曜休館)
京都市左京区岡崎公園内 ☎075-771-4107



「樹下花鳥獸図屏風」一対のうち右隻
(静岡県立美術館蔵) 11/22～12/4展示



「雪梅雄鶏図」
(京都・兩足院蔵)
11/8～12/4展示



「百犬図」
1797年(寛政11)
11/15～12/4展示

最近のブームといわれる若冲熱狂の時代に、本展は若冲の画業を通観することによって、その独自の世界観や優れた作品の数々が、当時の江戸とは異なる精神の自由性に満ちていた京都にこそ、その芸術の源泉があったという。「若冲は要するに京都そのものである」(狩野博幸)、すなわち京都と若冲はいわば一心同体ということだ。

本展には宮内庁所蔵の〈動植綵絵〉30幅の展示はなされないが、これまで目に触れたことのない水墨画の名品も数多く展示されており、会期半ばの11月からは作品の展示替えにより次々と目玉作品が登場するので見逃せない。展示替えリストを入手してお目当ての作品と対面して頂ければ幸いです。

会場		日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	12/1				
		曜	火	水	㊄	金	土	㊄	月	火	水	木	金	土	㊄	月	火	水	木	金	土	㊄	月	火	㊄	木	金	土	㊄	月	火	水	木				
企	画廊 きよみず	東山区清水五条坂 525-2062	日本画常設展																																		
企	画廊 後素堂	中京区新町丸太町下ル 231-0938	貸画廊受付中																																		
企	画廊 彩雲	宇治市折居台1-4-40 23-1468	展示休廊 (土日祝営業休)																																		
企	画廊 たづ	東山区神宮道三条西入ル 771-8225	日本画常設展 (日祝休廊)																																		
貸	画廊 ビーナス	三条大橋東一筋目上ル東 771-3104																																			
貸	ぎおんギャラリー八坂	東山区祇園町南側 525-1717	洋服とアクセサリ (廣瀬光美) (休み不定期)															完爾タペストリー展 (井村勲)					墨彩画展 (黒岩豊隆)														
貸	ギャラリー M	中京区蛸薬師高倉西 221-0979	フランス、ベルギー、オランダを描く展 (松本祐佳)										京の景・時代祭を描く展 (松本祐佳)																								
貸	ギャラリーカト	1F 中京区寺町御池下ル 231-7813	月曜会展					嵐彩会展					昭和美術会展					香鶴会日本画展					友彩会展														
貸	ギャラリーカト	2F 中京区寺町御池下ル 231-7813	楽・らく展										吉田和生個展					瓜生会展																			
企	ギャラリーかもがわ	上京区堀川出水西入 432-3558																																			
貸	ギャラリー祇園小舎	東山区四条通糺手東入 551-3828	油絵五人展					日本画風紙画展					第8回 むねの会展					清水光美 アクリル・水彩画展					風と森の風景展														
貸	ギャラリー吉象堂	中京区三条柳馬場東 221-3955	第27回 SABATO展										寺田式ユニット折紙√3の魅力に迫る										第18回 丸池'69展														
貸	ギャラリー Create洛	中京区丸太町通堺町角 708-7898	山根康代展 (洋画)					加藤健二展 (洋画)					高谷光雄展 (染色)					門川昭子展 (洋画)					常設展 (洋画)														
企	Gallery G-77	小川通丸太町下ル 755-7695	常設展																																		
貸	ギャラリー K	中京区寺町二条下ル西側 255-7518	11月は休廊いたします。																																		
貸	ギャラリー 恵風	1F 左京区丸太町東大路東入 771-1011	松生歩展 (平面)					宇都大志展 (平面)					第7回 三人の絵画展 日下部直起 蛭田均 山本柱石					金澤一水展 (立体)					中島慎一展 (平面)														
貸	ギャラリー 恵風	2F 左京区丸太町東大路東入 771-1011	西澤康子展 (平面)					小林悟展 (平面)															奥田博士展 (陶芸)														
会場		日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	12/1				
		曜	火	水	㊄	金	土	㊄	月	火	水	木	金	土	㊄	月	火	水	木	金	土	㊄	月	火	㊄	木	金	土	㊄	月	火	水	木				
貸	ギャラリー 佐野	中京区寺町蛸薬師西北角 221-2767	朴 順哲展 (墨絵)																				山田喜代春 木版画展					日本画院 近畿支部展									
企	ギャラリー三条祇園	中京区寺町通御池上ル 221-6401	中国の現代作家をみる Yuan Jinhua Solo Exhibition																																		
企	ギャラリー 白川	東山安井東一筋目南 532-2616	小倉正志個展 (月曜休廊) 「都市の表層とファンデーションシリーズ」										常設展																								
貸	ギャラリー 翔	第7回 玉城和美的描き絵空間展 (タペストリー・スカーフ・器) 左京区北山通下鴨中道東 724-8154	川端英一御器楽音陶展 (器・花器他)					中村謙二木工額展 (木工額)					ATELIER SIX アトリエ展 (ステンドグラス生徒作品)					もうすぐお正月展																			
貸	ギャラリー 16	東山区三条通白川橋西入上ル 751-9238	谷井ひろ子展 「居場所を求めて」 (フォト・コラージュ)					越田博文展「月の庭」 (平面) (月曜休廊)					鷹木朗展 - 路上の影 - (平面) (月曜休廊)																								
企	ギャラリー 創	中京区河原町御池上ル 251-0522	常設展 鴨居玲・熊谷守一・伊藤若沖・白隠・長沢芦雪 他																																		
貸	ギャラリー 象鯨	中京区姉小路柳馬場東 253-0738	常設展 (貸ギャラリー受付中)																																		
貸	ギャラリー 高倉通	岡田房子洋画展 (アクリル・パステル) 中京区高倉姉小路下ル 221-3390	「めと目が合って…日本画」のつときこ展					第2回 4 points展					“やさしい秋 織展” 手織工房 素生																								
貸	ギャラリー Little House	12星座展 下京区室町四条下ル 090-9977-1559	衣笠泰介展										ガラスや陶磁器のインストラクター展										嵯峨根辰夫展														
企	ギャラリー 鉄齋堂	常設展 (6・9日休廊) 東山区新門前東山西 531-6164	第23回 書画まつり										休廊																								
貸	ギャラリー 知 (とも)	休廊 テクアートフェア (韓国) 出展中 中京区寺町通丸太町東入ル南側 585-4160	前田紗希・松野木望会 二人展										2016 MULTI																								
企	ギャラリー なかむら	田中孝作品展 (版画) (月曜休廊) 中京区姉小路河原町東 231-6632	竹内三雄展 (彫刻) (月曜休廊)																																		
貸	ギャラリー 中井	江本佳寿子展 中京区木屋町三条上ル 211-1253	岡本裕介展					杉浦康司展					川崎 大 展					高崎祐祐展																			
企	ギャラリー 白梅園	白崎信子ガラス作品常設展 北区北野上白梅町G3 461-0427																																			
貸	ギャラリー ヒルゲート	1F 小田賢展 (創画会) 中京区寺町三条上ル 231-3702	上岡真志展 (新制作)					中原史雄先生企画 25人の絵展					増田常徳展 (油彩)					廣田政生展																			
貸	ギャラリー ヒルゲート	2F 中京区寺町三条上ル 231-3702	長谷川ゆか展					たくまたえこ絵画展										「七人力」展																			

【短信】京都画廊連合会ニュースの展覧会紹介記事で掲載している作品の画像は、当画廊のホームページ (<http://www.kyoto-art.net/>) では、すべてカラー図版として掲載しています。どうぞお楽しみください。

会場		日曜		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	12/1			
		火曜		火	水	④	金	土	⑤	月	火	水	木	金	土	⑥	月	火	水	木	金	土	⑦	月	火	⑧	木	金	土	⑨	月	火	水	木			
企	ギャラリー美楽堂 東山区神宮道三条上ル 761-9710	日本画常設展																																			
	貸 GALLERY FUKUMI SHIMURA 左京区岡崎神宮道西側 746-3303	改装のため休廊																																			
貸 企	ギャラリーマロニエ 河原町四条上ル東側 221-0117	3F	新田健展 (平面)		今-toki-展 (日本画)		竹中香哉子展 (日本画)		向井修展 (平面ペン画)		山田久二夫展		→12/4																								
		4F							松谷歩展 (染色)																												
		5F	山本雄教・高村総二郎 二人展				陶画塾展		田嶋裕子・高川博子 二人展		池田品一展		→12/4																								
貸 企	ギャラリーみすや 中京区三条河原町西入 211-5997	スコーネ展		大阪金曜会		山根須磨子絵画教室		花夢展		豊旗会		林昌代 個展		→12/4																							
貸 企	ギャラリー唯 左京区岡崎神宮道東側 752-0348	インドのYANTRA展 (月曜休廊) ジャケット・カディストール・小物袋		3人展 仲恵子(油彩)/生島庸子(アクリル画)/首藤成利(木彫)		高木唯可 水彩画展		陣七海 帯地バッグ展		→12/4																											
企	ギャラリー洛中洛外 山科区清水焼団地内 595-5450	陶芸作品常設展示																																			
貸 企	ギャラリー龍馬 河原町三条下ル東入 211-7700	龍馬追悼展 (水曜休廊・23日は営業) (追悼展期間中入場料600円)																																			
企	ギャラリー正観堂 東山区切通新門前上ル 533-4110	休廊	藤井勘介 絵画展		休廊	藤平 寧 陶展		休廊																													
企	ギャラリー宮脇 中京区寺町二条上ル 231-2321	アンドレ・ブルトン生誕120年/没後50年記念展 「シュルレアリスムと絵画」(月曜休)																																			
貸 企	ギャラリー百音(もね) 左京区岡崎神宮道東側 708-2138	天田毅 青白磁展 or マイセンカップ&ソーサー展 (7・14・21・28日休廊)																																			
貸 企	ギャラリーヤマシタ 中京区寺町三条上ル 231-6505	1F	睦会 透明水彩画作品展	日洋会 京滋支部展 (油彩)		科の会 木版画展		暮らしのクラフト ゆずりは		→12/10																											
		2F	花工房 織教室展	グループコスモス 洋画展		竹笹堂 木版画教室展		GEIKON イチサン絵画展																													
		2号館	1F 稲葉誠一 個展 ピワの葉影 (油絵)	KOKUITTEN II		日本水彩京都支部 小品展		楽描会展 (色えんぴつ画)		ヨロビアンチャイナ ペインティング展		→12/4																									
2F	生きているよろこび2人展 吉川泰史・尾崎真美子		かもしか会 (日本画)		川筋朋代展 (油絵)		デンマーク 刺しゅう展		→12/4																												
貸 企	京都ギャラリー 中京区烏丸通錦上ル東側9F 257-5435	貸しギャラリー受付中																																			
企	京都芸大ギャラリーアーク 中京区御池通堀川東入 334-2204	KYOTO EXPERIMENT 2016 AUTUMN 公式プログラム 「マーティン・クリード」(月曜休館)																																			
会場		日曜		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	12/1			
		火曜		火	水	④	金	土	⑤	月	火	水	木	金	土	⑥	月	火	水	木	金	土	⑦	月	火	⑧	木	金	土	⑨	月	火	水	木			
企	京都芸術センター 中京区室町錦薬師下ル 213-1000	小泉明郎「CONFESSIONS」																																			
企	京都市学校歴史博物館 下京区御幸町清光寺下ル 344-1305	← KYOTO EXPERIMENT むかしむかしあるところへ-教材としての昔話 (水曜休館)																																			
企	京都陶磁器会館 東山区東大路五条上ル 541-1102	1F	常設展 (木曜休館)		常設展		第58回 京都色絵陶芸展		紅村屋~伝統と次代への挑戦		→12/7																										
		2F	わん碗ONE展 (木曜休館)						守崎正洋陶展		→12/7																										
貸 企	京都万華鏡ミュージアムアートスペース 中京区姉小路東洞院東入 254-7902	Ensemble 2016 つなぐ展		こども万華鏡大賞 公募展		京都市退職校同長会 支部合同 作品展		緑と緑 (ふちとえん) あきすとクラフト ペーパークイリング教室		リビングカルチャー 倶楽部 洛彩グループ展																											
貸 企	COHJU contemporary art 中京区丸太町寺町西 256-4707	常設展																																			
貸 企	堺 町 画 廊 中京区堺町御池下ル 213-3636	橋本明子日本画展		與倉玲 個展		加藤幸治・尚子 作陶展		伊藤五美 陶展		マカダム 雪子展		→12/4																									
貸 企	里見有清堂 中京区堺町三条上ル 221-5423	貸画廊受付中																																			
企	蔵丘洞画廊 中京区御池寺町東入 255-2232	常設展 (日祝休廊)		岩崎絵里・久野隆史展 (日本画) (会期中無休)		常設展 (日祝休廊)																															
企	大 雅 堂 東大路通祇園上ル 541-7388	松村公太展 -光 その先に-		常設展 (日祝休廊)		おざきゆい 個展 おやすみのまえに		常設展 (日祝休廊) (コンセプチュアルリズムアート)		→12/7																											
企	梅 軒 画 廊 中京区烏丸四條上ル 221-3510	日本画・洋画 常設展 (日祝休廊)																																			
貸 企	ボルタギャラリー華 下京区京都駅前地下街 365-7533	奥村靖子絵画展		京都新鋭日本画グループ展		徳重くるみ・Angelic glass ステンドグラス展		→12/4																													
企	星 野 画 廊 東山区神宮道三条上ル 771-3670	母子像名作選そして少女たち (日・月曜休廊)																																			
企	松本松栄堂 中京区寺町夷川上ル 212-0626	新古書画展示 (16日・月末休廊)																																			
企	村 田 画 廊 左京区松ヶ崎泉川町18-4 703-8960	常設展 (火祝休廊)																																			
貸 企	ヤマモトギャラリー 中京区姉小路寺町東入 231-2341	「いきているものかたち」 ろう染と陶彫 樋上千哲		十二人十二色展 (グループ展)		「Anne Marieの世界」 墨絵 金剛丸由美		→12/4																													

発行：京都画廊連合会 京都市中京区高倉三条上ル 京都府京都文化博物館内 (☎222-0895)
 [京都画廊連合会ニュースの購読予約受付中] 1年間¥2,000円です。毎月末にお手紙に届けられます。申込みは星野画廊 (☎771-3670) まで振込用紙をご請求ください。
<http://www.kyoto-art.net/>